

東京大学大学院教授の北村先生をお招きし、 グローバル講演会を実施しました

(SD 探究2【総合的な探究の時間】の授業の一環として実施するものです)

10月3日(火) 本校が実施する「グローバル講演会」に、東京大学大学院教授の北村友人先生を講師としてお招きしました。「持続可能な社会の実現～私たちはどのように貢献できるのか」というテーマで、「SDGsが求められる世界の現状と、その時代に生きる私たちがどのように生きていくべきか」などについての講演を2年生が拝聴しました。講演会後には、北村先生と希望者による座談会も実施しました。

なお、本校では、1,2年生で実施している「総合的な探究の時間」において、1年生では「地域」を知った上で、「大垣市未来ビジョン」を題材にした探究活動を行っています。2年生では「世界」を知ったうえで、「6つの分野(開発・教育・医療・農業・ビジネス・スポーツ)」に分かれて探究活動を行っており、今回の講演会もその一環として実施されました。

講演会後の座談会では、各自の質問に丁寧に答えていただきました。学びが大きく変わってきており、今までのやり方にとられる必要はないというお話が印象的でした。

生徒の声

・MDGsもSDGsも先進国が勝手に決めて発展(開発)途上国の課題を軽く見ているように今日の講演を聞いて思いました。国連は全ての国に不利なく国際発展していくための機関だと思うので、国連に出席している知識人たちはもっと現実的に目標を立てて国際協力を存分に発揮し平和な世界を早く創り上げてほしいです。

・発展途上国の子供たちの方が肥満率が高かったり、小児科が機械に取って代われないと予想されたりしている理由に納得しました。深く考えればわかる事だが、上澄みだけ見ていると見逃してしまうことで、こういうところに広い視点を持つ大切さなどがあるんだろうなと思いました。

・勉強は筋トレという言葉が印象に残っています。普段の学習や探究の時間も含めて学校では学び方を学び、そこで培った力を先を見通しづらい今の世の中を生きていくのに使うということだと気づけました。

